

絶好の回収日和の中、たくさん集まりました

5月19日、平成30年度第1回目の「資源ゴミ回収」を実施しました。当初の予想では雨も考えられていましたが、地域の皆さんの思いが夜空に通じたのか、絶好の回収日和となりました。

資源ゴミ回収



しかし、時より風が強く吹き、回収した資源ゴミが荷台から飛びそうなハブニングもあり、回収に携わった公民館運営審議委員の方々は、荷台を気にしながらも無事担当した各家庭を隈なく回る事が出来ました。

回収開始の1時間後には、集積場所のふれあいセンター前には、新聞紙、アルミ缶、雑誌等が一杯になり、今日の回収日のために地域の皆さんが邪魔になるのを承知で保管してくれていたことに感謝しながら、回収メンバー一同、額に汗を浮かべ頑張っていました。

この「資源ゴミ回収」で得た収益については、公民館事業で活用させていただきます。子供から高齢者まで幅広い世代に還元できる活動を行っていきたくと思っています。

今回の回収でご協力いただいた地域の皆様、回収スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

(寄稿者・福船 田所秀二)

補導委員会等で活発な討議

スマホ依存症など問題解決に向けて

5月24日(木)、平成30年度の南国市少年育成センター補導委員会総会が、グレース浜すして開催されました。

南国市内の全補導員と市内の高校・中学校・小学校の補導担当者、行政機関、南国警察署などが参加し、本年度の少年補導育成活動の取り組みについて報告されました。

また、6月8日(金)には、香南中学校区の補導委員会、ブロック会が、同じくグレース浜すして開催されました。香南中学校区の補導員と高知高専、香南中学校、日章小学校、大湊小学校の校長、補導担当者、PTA会長、南国市育成センター、日章駐在所などが参加しました。

各学校より現状報告がされ活発に質疑応答がありました。各校とも特に問題はないものの、何人か、学校へ来ても教室に入れないものなど問題提起がありました。不登校の問題は、家庭

環境・本人の心・学校環境の3つにあると言われており、学校と地域も含めた暖かい環境での対応が求められています。

またスマホやラインなど、依存症の子供が多いことも報告され、「親と子供」の取り決め管

岩村の人口を考える

岩村の人口を平成27年から4年間、掲載していますが、世帯数はあまり変動はありませんが、人口はこの4年間で35名減少しています。

世帯数は、だいたい390軒前後で推移しています。人口は着実に毎年減少しています。新築された家など岩村地区外からの転入を考えると、自然減による大家族からの減少と、小家族(2〜3人)へ

環境委員の紹介

地区のごみ回収BOX周囲の清掃やごみの分別をやってくださる環境委員を紹介いたします。

- 包末 植松 妙
- 東金地 小松 豊
- 西金地 浜田 純子
- 堀の内 堤 真琴
- 福田 西野 義輝
- 船渡 大島 建雄
- 蔵福寺島 友永園子

日赤委員の紹介

- 蔵福寺島 大島 達郎
- (日赤岩村分区分・分団長)
- 蔵福寺島 山崎 真紀
- 堀の内 今井 洋一
- 堀の内 松下 充夫
- 包末 入交 満
- 福船 廣瀬 隆
- 金地 和田 真一
- 中尾 田村 辰男
- 武夫 武夫

(敬称略)

定期学習 (公民館事業)

- 卓球 火・土曜日
- パソコン 毎土曜日
- 岩村ひまわり会 毎土曜日
- ストレッチボール運動 毎木曜日
- 俳句会 第2・4金曜日

定期学習 (館許可活動)

- 社交ダンス 第1・3木曜日
- ヨーガ教室 毎月曜日
- 3B体操 毎水曜日

理など解決に向けてのアドバイスもありました。

今後は、補導員は勿論のこと地域も含めた、登下校見守り活動や、交通安全指導に向けて、より一層の活動強化を実感しました。

(寄稿者・福船 和田真一 補導員)

移住が考えられます。

南国市全体も、同じように人口減が続いており、岩村だけが異常事態ではありませんが、他県の人口増の例(岡山県総社市)をみると、社会福祉の充実や福祉委員の活躍など「若い人が住みたい町」づくりが解決策になっています。

と同時に市街化調整区域の一部見直し(岩村ふれあいセンター付近)など行政が英断すれば、人口減は間違ってなく防止できるでしょう。

(編集部)

合計	蔵福寺島	金地	包末	堀の内	福船
男447	男24	男101	男101	男98	男123
女462	女21	女114	女99	女105	女123
合計909	合計45	合計215	合計200	合計203	合計246
世帯数387	世帯数22	世帯数89	世帯数77	世帯数89	世帯数110

※世帯数・人口ともに南国市役所企画課発表の数字です

岩村地区の人口
平成30年5月31日現在